

(財)全日本交通安全協会 推薦
文部科学省 選定



と ま る ク ソ
と
わ た る ク ソ
の
こ う 交 通 あ ん ぜ ん
交 通 安 全

ビデオ作品 時間：14分 価格：50,000円（税別）

子どもの交通事故は、学校の通学路で起きています。急に道路に飛び出したり、道路で遊んだり、信号機や横断歩道のない場所での横断など。小学校に入ったばかりの子ども達は、まだ遊びの延長で道を歩いています。この作品では、分かりやすいクイズ形式で交通ルールを説明しています。子どもが通学途中で交通事故にあわない事を願って製作しました。 企画・製作 株教 配



学校の帰り道に、道路で遊んだりしていませんか？



歩行者用と自動車用の信号機



この「標識」のあるところで渡っていいのかな？

電車の踏切りには、遮断機とカンカン鳴る信号機があります。



止まれの「標識」のあるところでは？



株式会社 教 配
URL: <https://www.kyohai.co.jp>

〒190-0012
東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア
TEL 042-518-9774 (代) FAX 042-518-9785

とまるクンとわたるクンの交通安全

子どもの交通事故は通学路で起きています。登場人物のとまるクンとわたるクンは、学校に行く道で標識や横断歩道の渡り方、信号機について勉強します。この作品は小学校低学年を対象に、子どもに分かりやすく、具体例を挙げて交通安全のポイントを解説しています。

あわてんぼうのわたるクン、家から道路に飛び出して、自転車にぶつかりそうになりました。わたるクンのように、急に道路に飛び出して交通事故にあうお友達がたくさんいます。みなさんは、学校の行き帰りに道路でふざけたり、遊んだりしていませんか？とまるクンとわたるクンと一緒に交通安全のお勉強をしましょう。



◆いろいろな交通標識

学校に行くまでの道に、いろいろな看板があります。これは道路を走る車や、歩行者が守らなければいけない規則を書いたもので、道路標識といいます。



赤の逆三角形に白い字で「止まれ」という標識。この標識があるところでは、必ずいったん止まって、左右をよく確かめてから進みます。



青の看板に人が歩く絵のついた三角形の看板。これは横断歩道の標識です。この標識のある道路には白い線がひいてあります。この線を、横断歩道といいます。渡る時には必ず車や自転車が来ないか確かめ、横断歩道を渡ります。



車の多く通る道には、横断禁止の標識があります。道路を渡っている人の絵にななめ線が入っています。ここで渡ってはいけませんという意味の標識です。



道が交差しているところを交差点といいます。交差点には青色、黄色、赤色に変わる信号機があります。青色は進め、黄色は注意、赤色は止まれの意味です。



多くの交差点には歩いて渡る人のために歩行者用信号機がついています。青色は進め、赤色は止まれの意味です。青色から赤色に変わる時、青色のチカチカがあります。これは黄色信号と同じで、注意という意味です。歩行者用信号機が赤色から青色に変わっても、すぐに渡らず、左右をよく見てから渡りましょう。

◆せまい道では……

とまるクンたちは、交通標識や横断歩道の渡り方をきちんと覚えられたようです。今度は、線路わきのせまい道を歩いています。みんな、道路のはしを一列になって歩いています。せまい道で横に並んだり道をふさぐようにして歩くと危ないので、道のはしを一列になって歩くようにしましょう。



◆踏切の渡り方

線路を渡るころには踏切があります。電車が近づくと信号がカンカン鳴って、遮断機の棒が下りて来ます。電車が通り過ぎて、安全が確認されると遮断機の棒が上がり、人や車が踏切を渡ることができます。遮断機が上がっても左右をよく見て、自転車や車に気をつけて渡りましょう。



標識や信号機の意味や、交差点での渡り方は分かりましたか？

普段通っている道で、交通事故にあわないようにチェックポイントを忘れないようにしましょう。

企画・製作：榎教 配 製作協力：アークワン(有)